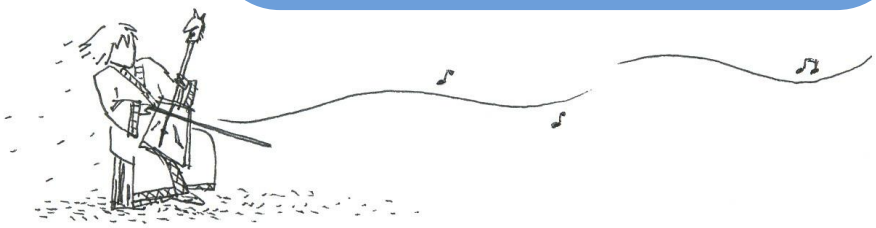
美炎・馬頭琴の調べ

－馬頭の棚田を吹きぬける心地よい風にのせて－

これまで と これから



2013 年 12 月

■演奏会について

栃木県那須郡那珂川町の山の棚田での、馬頭琴を中心とした演奏会です。
棚田は周囲を山に囲まれて、すり鉢状になっているため、音は谷全体に広がり、田んぼの畦や棚田を見下ろす丘の上などに座ったお客様は、自然と人が作り上げたオペラハウスのような棚田での生演奏を堪能できます。
馬頭琴奏者の美炎さん自身が「他では聴けない音がでる」と、この棚田での演奏を楽しみにして下さっています。
これまでに３回開催し、毎年２００人前後のお客様に聴いていただきました。

〇第１回　2011 年 10 月 9 日（馬頭琴 ： 美炎）
〇第２回　2012 年 9 月 30 日（馬頭琴 ： 美炎　ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ: サイトウジュン　ベース ： 齋藤隆一）
〇第３回　2013 年 10 月 13 日（馬頭琴 ： 美炎　キーボード：竹井美子　ベース：ｇｉｚ）

第４回は、２０１４年１０月１９日（日）を予定しています。

■演奏者プロフィール

〇馬頭琴奏者　美炎（みほ）

幼少より、バイオリン、ピアノ、声楽に親しみ、2000 年馬頭琴と出会う。
モンゴルの国家１級演奏家チ・ブルグッドに師事。

馬頭琴の人間国宝チ・ボラグに認められ、馬頭琴アンサンブルの最高峰「野馬アンサンブル」の一員として中国、モンゴル、台湾で演奏。
モンゴル民謡はもちろん、オリジナル曲も多く、ファンも多い。

2009 年　オリジナルＣＤ『風がくれた物語』リリース。
2010 年　映画『１３人の刺客』音楽参加。内モンゴルテレビ『音楽部落』出演。オリジナル曲が番組のプロモーションＣＤに選出される。
2011 年の東日本大震災後、チャリティーＣＤ『光と風と』を製作し、ＣＤを携えて日本

各地・アメリカにてチャリティーコンサートを行う。
2012 年　CD『ホワイトバッファローの伝説』リリース。
2013 年　CD『白鳥 - Love Song -』リリース。

筑前琵琶、インディアンフルート、琴、ギター、ピアノ、パーカッション、弦楽アンサンブル等、様々なジャンルの音楽家とのコラボレーション、また自然の中での豊かな響きを創る事に喜びを感じている。(栃木県那珂川町旧馬頭町の棚田、熊本県人吉市大畑駅桜の下、清里羽村市休暇村、久米島、アメリカ・シャスタなど)
また、物語に焦点をあてた作品作りなど、独自の音楽世界を繰り広げる。

彼女の感性がきりとったオリジナルメロディーは聞く人の心を揺さぶり、その音色はモンゴルの音楽家達からも「非常に透明で美しく、独自の感性から紡ぎだされる音。日本人馬頭琴奏者としては並ぶもののいない確かな演奏技術を持っている。」と高く評価しており日本国内、中国、モンゴル各地で多数演奏。

馬頭琴の巨匠であり有名な作曲家でもあるチ・ボラグは「美炎の作品は、私とひとつ共通しているものがある。彼女の作品は彼女の日記と同じだ。という点だ。」「美炎の音色は、モンゴル人とも違う、バイオリンに似ているけれど、それとも違う、美炎の音色だ。」と評価。

モンゴル国の著名な音楽家ジャンツァンノロブ氏も国際馬頭琴フェスティバルの舞台上で「彼女の演奏は非常に透明で、モンゴル人演奏家は彼女から学ぶべき所がある。」と紹介した。

【ＨＰ】『Miho Plays Batohkin – 美炎が馬頭琴を奏でる』　www.miho-batohkin.jp

○竹井美子（キーボード）　※第３回に共演

三才より両親のてほどきでピアノを始める。
武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科（ピアノ専攻）卒業。
クラシックからポピュラー音楽まで幅広い分野の伴奏を得意とし作曲､編曲も手がける。
ミュージックベルとトーンチャイムのサークル『リトミコ』主宰。

○giz　ギズ（ベース）　※第３回に共演

ベースをロミー木下、斎藤クジラ誠に師事。
アイドルのレコーディング等 JAZZ からポップス、ロック、ワールドミュージックまで幅広い分野で活躍。
彼の弾く音色はどんなジャンルの曲であっても暖かく、様々な楽器と溶け合い包み込むように、多くの共演する音楽家達をも魅了している。

■演奏会のコンセプト

①馬頭琴奏者･美炎さんの演奏

日本人の馬頭琴奏者･美炎さんが奏でるモンゴルの民族楽器・馬頭琴は草原のチェロとも言われ、その音色は日本の原風景や自然の営みに馴染みが良く、老若男女全ての人の心に染み渡る演奏会となっています。

②棚田が演奏会場

周囲を山に囲まれた、静かな棚田が演奏会場です。
かつては谷沿いに山の奥まで続いていた棚田も、今も耕作がつづく現役の棚田は、この地域ではここだけとなりました。
馬頭琴の音は、棚田の真中から谷全体に広がり、スピーカーを使わずとも十二分に楽しめるほどです。
お客様は、田んぼの畦や谷を見下ろす丘の上などに座って、人と自然が作り上げたオペラハウスのような棚田で生演奏を堪能できます。

③一期一会の演奏会

棚田の景色、太陽や雲や谷を渡る風、周辺の木々のざわめき、トンビやトンボなどの様々な生き物すべてが、馬頭琴の音色に共鳴し一体となって、まるで用意された舞台装置の様に一期一会の演奏会を演出してくれます。

④音楽と共に楽しむ里の風景

お客様には駐車場から会場までの約１Ｋｍの道のりを、里の風景を楽しみながら受付に向かっていただき、さらに山の仕事道を通って会場の棚田まで歩いていただきます。

また、里の風景を守っている人々の暮らしを感じて、見て、知ってもらいたいという思いから、山の仕事道の木立を利用して、人の暮らしと里の自然を写真で紹介しています。

駐車場から演奏会場までの里山全体を大きな会場ととらえて準備しています。

⑤地域の人々による手づくりの演奏会

この里山で暮らす地域の人たちが中心となって会場周辺の草刈りなどの準備をし、演奏会当日は、駐車場案内、受付、会場案内、観光案内、農産物販売などを担当しています。
また、和やかな雰囲気の中でお客様をお迎えし、言葉を交わすことで新たな交流も生まれはじめています。

⑥音楽と風景が持つ力で新しい価値を

何百年も前から地域の人々が、自然と折り合いをつけながら暮らし作ってきた里山。今の人々も大切にしてきた棚田や里山の風景、それと共に脈々と受け継がれてきた里山の文化は、高齢化により存続が危ぶまれはじめています。

日本人の原風景のような場所で行われるこの演奏会をつうじて、町外から来てくださったお客様も、地元で暮らす方々も、何かを感じ、新しい価値を見いだし、未来への希望につながっていく様になればと思い、毎年の演奏会作りを心がけています。

■演奏曲（２０１３年演奏会プログラムより）

【プログラム】

●第一部●

1．４歳の栗毛の子馬
　天上の風
　白鳥　・・・・・・・・　モンゴル民謡
2．スーホの白い馬　・・・・　チ・ボラグ作曲
3．風と空のうた　・・・・・　美炎作曲
4．シルクロード　・・・・・・　NHK スペシャルテーマ曲
5．最後の鷹　・・・・・・・　美炎作曲
6．風の色は何色　・・・・・・　ディズニー映画
　　ポカホンタスより
7．日本の曲メドレー　・・・・　竹井美子編曲

＜休憩…10 分程度…＞

●第二部●

1．エンリオ・モリコーネ　メドレー
　・・・・　ニューシネマパラダイスより
2．風の馬　・・・・・・・・・・　美炎作曲
3．グリーンスリーブス
4．Ｇ線上のアリア　・・・・・　バッハ作曲
5．翼のある馬　・・・・・・・・　美炎作曲
6．龍は嵐を呼んで天に昇る　・・・・・　美炎作曲
7．祈り『ホワイトバッファローの伝説より』　・・　美炎作

【お見送り】　上記プログラム終了後、お見送りの演奏をいたします。
帰り道、だんだんと遠ざかる音の変化をお楽しみ下さい

２０１４年第４回の演奏曲でも、同じような構成を予定しています。

■開催場所

演奏会場：〒324-0618 栃木県那須郡那珂川町小口　山の棚田

日本の農山漁村の景観・文化などを守る活動をしているＮＰＯ法人「日本で最も美しい村」連合に、隣接地区の小砂地区が２０１３年に加盟しました。

演奏会場の小口地区も隣接の小砂地区も、共に栃木県の八溝県立自然公園内に位置し自然度が高く、かつ、古くからの集落が点在し水戸藩時代の名残や伝統工芸小砂焼などの文化歴史の資源も多く、人と自然の調和のとれた地域になっています。

山の棚田とは

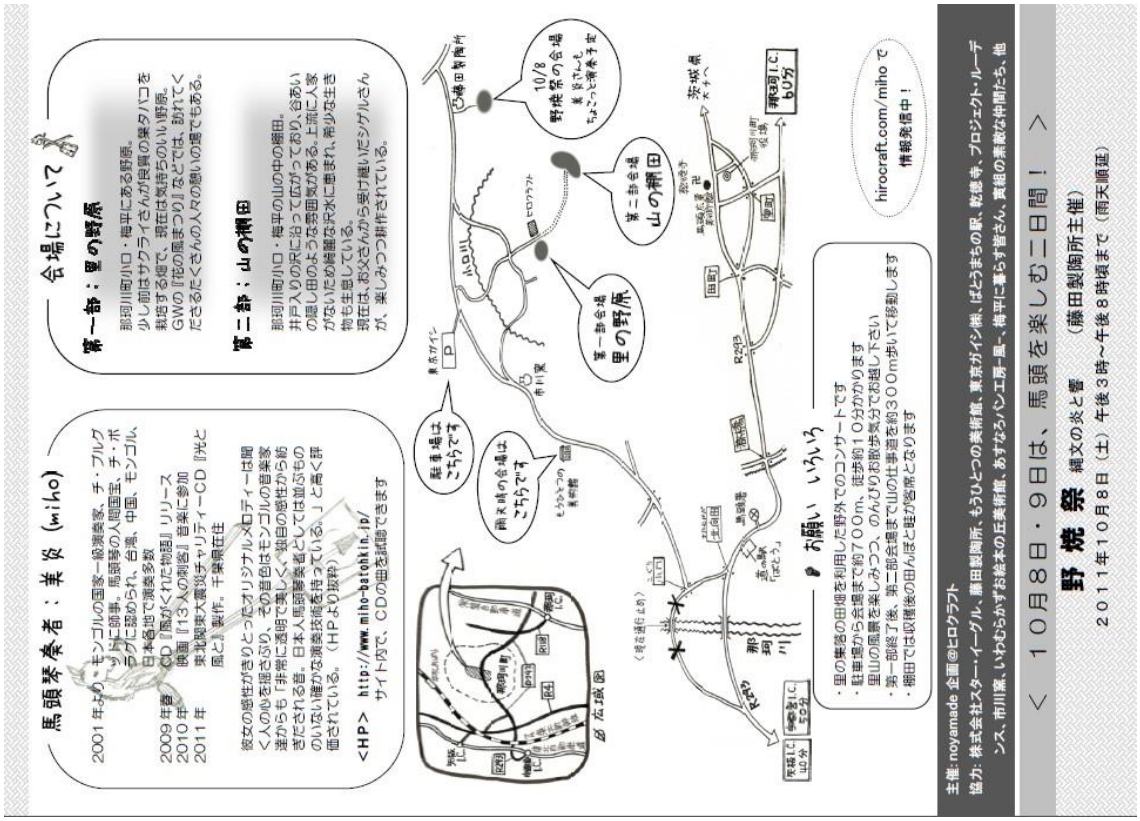
那珂川町小口・梅平地区の山の中、井戸入りの沢に沿って連なる 13 枚の田んぼです。上流に人家がないためきれいな沢水に恵まれ、多くの希少な生き物がくらしています。大型の農業機械を入れることは出来ませんが、先代から受け継がれたシゲルさんが、今も楽しみつつ大切に米作りをされています。

この棚田は、ぐるりを山に囲まれているためか音の響きがすばらしく、音楽会場として年に一度だけお借りしています。

一期一会のコンサートを、お楽しみいただければと思います。

■演奏会チラシ

２０１１年



美炎（みほ）・馬頭琴の調べ

―馬頭の棚田を吹きぬける心地よい風にのせて―

２０１２年９月３０日（日）

受付：１０時頃より　開演：１１時

（雨天時は１１時３０分開演となります）

山の棚田にて

（栃木県那須郡那珂川町（旧馬頭町）小口）

（雨天時会場：あじさいホール）

（小川・まほろばの湯隣）

hirocraft.com/miho で、情報発信中です！

＜演奏＞
馬頭琴：美炎
パーカッション：サイトウジュン
ベース：齋藤隆一

＜チケット＞
前売り　大人（高校生以上）：２２００円
子ども（３歳以上）：１０００円
（当日券　大人：２５００円、子ども：１１００円）

＜チケット購入・お問い合わせ＞
Web：hirocraft.com/miho
メール：info@hirocraft.com
Tel.：080-3349-3465（廣田）
Fax.：0287-92-5660

のんびり ぶらりと 楽しむ 秋の一日を。やきものと美術館と美人の湯の里　小口（こぐち）・小砂（こいさご）

馬頭琴奏者：美炎（miho）

2001年より　モンゴルの国家一級演奏家チ・ブルグッドに師事。
馬頭琴の人間国宝チ・ボラグに認められ、馬頭琴アンサンブルの最高峰『野馬アンサンブル』の一員として、中国、モンゴル、台湾で演奏
2009年春　CD『風がくれた物語』リリース
2010年　映画『13人の刺客』音楽に参加
2011年　東日本大震災後、チャリティーCD『光と風と』製作。一年間、日本各地・アメリカにてチャリティーコンサートを行う
〃　10月　馬頭の棚田にて「美炎・馬頭琴の調べ」第１回コンサート
2012年４月　CD『ホワイトバッファローの伝説』リリース　千葉県在住

彼女の感性がきりとったオリジナルメロディーは聞く人の心を揺さぶり、その音色はモンゴルの音楽家達からも「非常に透明で美しく、独自の感性から紡ぎだされる音。日本人馬頭琴奏者としては並ぶもののいない確かな演奏技術を持っている」と高く評価されており、日本国内だけではなく、中国、モンゴル、アメリカ等で多数演奏。

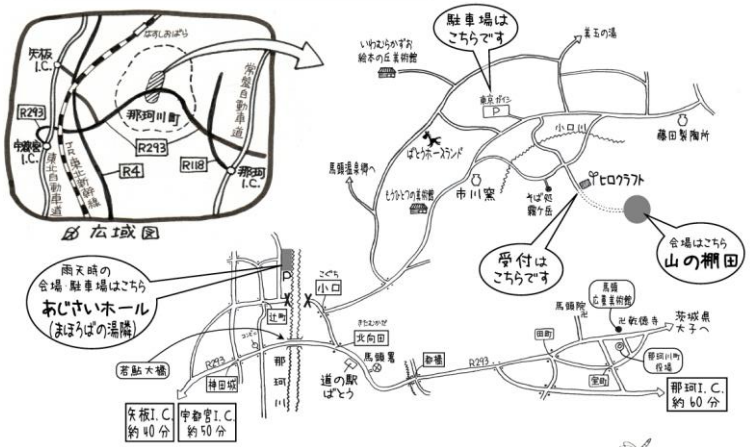
＜HP＞『 Miho Plays Batohkin ―美炎が馬頭琴を奏でる 』
（ http://www.miho-batohkin.jp/ ）
サイト内で、CDの曲を試聴できます

パーカッション：サイトウジュン

幼少の頃より音楽に関心があり、小学生時代は声楽を、中学入学後、ビッグバンドジャズに出会いドラムを始める。
2000年、T-SQUARE則竹裕之氏に師事。
ドラムだけでなく、ラテンパーカッションにも精通しており、様々な経験を経て現在に至る。

ベース：齋藤隆一

幼少の頃より音楽が周囲にあり、14歳から本格的にベースを始める。
大学在学中よりプロ活動を開始し、セッション等 精力的に活動。
富倉安生氏、依知川伸一氏による、プロ・ベーシスト集団「地下室の会」No.133。



お願い いろいろ

・山の棚田を利用した野外でのコンサートです。
日よけの帽子や虫除け、シート等、必要に応じてご持参ください。
・駐車場から受付までは約700m（徒歩約10分）です。
里山の風景を楽しみつつ、のんびりお散歩気分でお出で下さい。
少し早めのご来場をお勧めしております。
・受付から演奏会場までは約300mです。山の仕事道を歩いて移動します。
・演奏会場では、収穫後の田んぼと畦が客席となります。

山の棚田とは

那珂川町小口・梅平地区の山の中にある棚田。
井戸入りの沢に沿って広がっており、谷あいの隠し田のような雰囲気がある。上流に人家がないため綺麗な沢水に恵まれ、ホトケドジョウやアブラハヤなど希少な生き物も多数生息しており、周辺の山にはサンコウチョウやオオルリ、サシバ等々、多くの渡り鳥もやってくる。
現在は、お父さんから受け継がれたシゲルさんが、楽しみつつ耕作されている。

主催：noyamade企画＠ヒロクラフト（〒324-0618 栃木県那須郡那珂川町小口 630・廣田）
後援：那珂川町教育委員会
協力：㈱スター・イーグル、東京ガイシ㈱、藤田製陶所、いわむらかずお絵本の丘美術館、もうひとつの美術館、ばとうホースランド
…　このコンサートの収益の一部は地域活性に役立てるため地元団体に寄付させていただきます　…

２０１２年

美炎（みほ）・馬頭琴の調べ

―馬頭の棚田を吹きぬける心地よい風にのせて―

＜演奏＞　馬頭琴・美炎（みほ）
キーボード・竹井美子
ベース・giz（ギズ）

２０１３年１０月１３日（日）
受付：１０時頃より　開演：１１時
（雨天時は１１時３０分開演となります）

会場：**山の棚田**
（栃木県那須郡那珂川町小口・梅平地区内）
（雨天時会場：山村開発センター大会議室）

＜チケット＞
前売り：大人　2200円、子ども　1000円
（高校生以上）　（３歳以上）
（当日券：大人　2500円、子ども　1200円）

hirocraft.com/miho で、情報発信しています！

＜チケット購入・お問い合わせ＞
Web：hirocraft.com/miho　メール：info@hirocraft.com　Tel.：080-3349-3465（廣田）Fax.：0287-92-5660
・前売りチケットは「ファッションあらい」さま（馬頭南町商店会）店頭でもご購入いただけます。

主催：noyamade企画@ヒロクラフト（栃木県那須郡那珂川町小口 630）　後援：那珂川町教育委員会、那珂川町観光協会
…　このコンサートの収益の一部は地域活性に役立てるため地元団体に寄付させていただきます　…

馬頭琴奏者：美炎（miho）

幼少より、バイオリン、ピアノ、声楽に親しみ、2000年馬頭琴と出会う。
2001年より　モンゴルの国家一級演奏家チ・ブルグッドに師事。
馬頭琴の人間国宝チ・ボラグに認められ、馬頭琴アンサンブルの最高峰『野馬アンサンブル』の一員として、中国、モンゴル、台湾で演奏
2009年春　CD『風がくれた物語』リリース
2010年　映画『13人の刺客』に音楽参加
2011年　東日本大震災後、チャリティーCD『光と風と』製作。
CDを携えて、一年間、日本各地・アメリカにてチャリティーコンサートを行う
2012年春　CD『ホワイトバッファローの伝説』リリース
〃　秋　馬頭の山の棚田にて「美炎・馬頭琴の調べ」第2回コンサート　千葉県在住

彼女の感性がきりとったオリジナルメロディーは聞く人の心を揺さぶり、その音色はモンゴルの音楽家達からも「非常に透明で美しく、独自の感性から紡ぎだされる音。日本人馬頭琴奏者としては並ぶもののいない確かな演奏技術を持っている」と高く評価されている。
日本国内だけではなく、中国、モンゴル、アメリカ等での演奏多数。
筑前琵琶、インディアンフルート、琴、ギター、ピアノ、パーカッション、弦楽アンサンブル等の様々なジャンルの音楽家とのコラボレーション、また自然の中での豊かな響きを創る事に喜びを感じている。
（栃木県那珂川町の棚田、熊本県人吉市大畑駅桜の下、清里羽村市休暇村、久米島等）

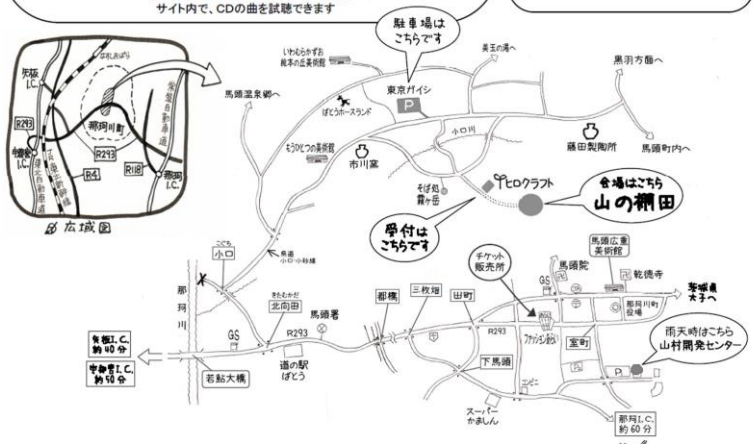
＜HP＞『Miho Plays Batohkin －美炎が馬頭琴を奏でる』
（http://www.miho-batohkin.jp/）
サイト内で、CDの曲を試聴できます

キーボード：竹井美子

3才より両親のてほどきでピアノを始める。
武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科（ピアノ専攻）卒業。
クラシックからポピュラー音楽まで幅広い分野の伴奏を得意とし、作曲・編曲も手がける。
ミュージックベルとトーンチャイムのサークル『リトミコ』主宰。

ベース：giz（ギズ）

ベースをロミー木下、斎藤クジラ誠に師事。
アイドルのレコーディング等 JAZZ からポップス、ロック、ワールドミュージックまで幅広い分野で活躍。
彼の弾く音色はどんなジャンルの曲であっても暖かく、様々な楽器と溶け合い包み込むように、多くの共演する音楽家達をも魅了している。



お願い いろいろ

・山の棚田を利用した野外でのコンサートです。
日よけの帽子や虫除け、シート等、必要に応じてご持参ください。
・駐車場から受付までは約700m（徒歩約10分）です。
里山の風景を楽しみつつ、のんびりお散歩気分でお出で下さい。
少し早めのご来場をお勧めしております。
・受付から演奏会場までは約300mです。山の仕事道を歩いて移動します。
・演奏会場では、収穫後の田んぼと畦が客席となります。

山の棚田とは

那珂川町小口・梅平地区の山の中、井戸入りの沢に沿って連なる13枚の田んぼです。上流に人家がないためきれいな沢水に恵まれ、多くの希少な生き物がくらしています。大型の農業機械を入れることは出来ませんが、先代から受け継がれたシゲルさんが、今も楽しみつつ大切に米作りをされています。
この棚田は、ぐるりを山に囲まれているためか音の響きがすばらしく、音楽会場として年に一度だけお借りしています。
一期一会のコンサートを、お楽しみいただければと思います。

協力：東京ガイシ㈱、いわむらかずお絵本の丘美術館、もうひとつの美術館、馬頭広重美術館、ばとうホースランド、ファッションあらい、藤田製陶所、市川窯、乾徳寺、馬頭院、鷲子山上神社、そば処霧ヶ岳、陶里庵、いさみ館、美玉の湯、那珂川苑、ゆりがねの湯、その他

秋の馬頭で　のんびり楽しむ一日を　やきものと美術館と美人の湯の里　小口・小砂
第8回　野　焼　祭　－縄文の炎と響き－（野焼おどり コンテスト出場者募集中！）
10月13日（日）午後2時頃～午後8時頃まで（主催：藤田製陶所）

２０１３年

■主な新聞掲載

２０１２年９月１４日　栃木よみうり

馬頭で馬頭琴コンサート

30日、那珂川の棚田を会場に

【那珂川】旧馬頭町小口の大金茂さん（55）が所有する棚田で9月30日、野外コンサート「美炎（みほ）・馬頭琴の調べ」が開かれる。

木工作家「ヒロクラフト」として活動する廣田充伸さん（46）、美千香さん（47）夫妻が主催し、昨年に続き2回目。きっかけは知人との「馬頭で馬頭琴のコンサートができたらおもしろい」という会話からだったという。

会場となる山あいにある棚田。コンサートは稲刈り後に行われる

主催する廣田さん夫妻と棚田の所有者、大金さん㊨

廣田さん夫妻が「人のものですが、自慢の田んぼ」と笑う大金さんの棚田が会場で、客席は田んぼとあぜ。人家から離れた山あいにあり、日本の原風景のような懐かしさを感じる場所だ。

千葉県在住の馬頭琴奏者、美炎さんは「稲を刈り、田んぼが乾くと馬頭琴の透き通った音が棚田全体に響き渡る。山の上まで音が伸び、鳥肌が立つほど」と昨年の演奏会を振り返る。大金さんも「山が反響板になるのでは」と話す。

コンサートは、美炎さんの馬頭琴に、パーカッション・サイトウジュンさん、ベース・齋藤隆一さんが加わる。モンゴル民謡、美炎さんのオリジナル曲などを演奏する。

美炎さんは「背中を後押ししてくれるような風が吹き抜ける場所。多彩な音色を持つ馬頭琴の生の音を、野外の醍醐味を感じながら聴いてもらえれば」と来場を呼びかけている。

駐車場から受け付け（廣田さん自宅＝小口630）まで約700㍍、受け付けから会場まで約300㍍あり、高低差のある場所を徒歩で移動する（歩行困難者は相談可）。

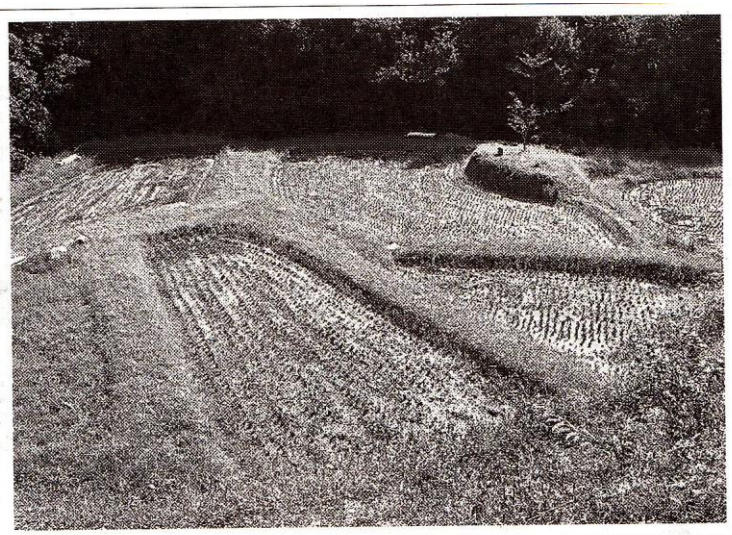
午前10時から受け付け、11時開演。雨天時はあじさいホール（午前11時30分開演）。大人2200円（当日3000円増）、3歳以上1000円（同100円増）。ヒロクラフト☎080・3349・3465。

棚田で演奏する馬頭琴奏者、美炎さん（中央）とパーカッション・サイトウジュンさん㊨、ベース・齋藤隆一さん

秋の那珂川 多彩な音色

那珂川町で10月13日、小砂焼の発祥の地といわれる同町小砂の藤田製陶所で「小砂焼野焼祭」、同町小口の棚田で馬頭琴の野外コンサートがそれぞれ開かれる。8回目となる野焼祭では初の「野焼おどりコンテスト」を開催、思い思いの衣装や踊りを楽しむ。

来月13日開催



馬頭琴の野外コンサートが開かれる棚田＝那珂川町小口

野焼祭 縄文の舞披露

「縄文の炎と響」と題した野焼祭は午後2時～同8時。まが玉作りや火おこし体験、馬頭西小の児童の合唱、愛好会などによるリコーダーアンサンブル、フラメンコ、ゴスペル、ダンス、縄文の舞も披露される。野焼おどりコンテストは、直径5㍍ほどの野焼きの周囲で、みんなで踊り、縄文人の気分を味わう。

会場内の施設では、有料で小砂焼の体験もできる。売店もある。

馬頭琴演奏 棚田でゆっくり

馬頭琴のコンサートは午前11時から。今年で3回目。梅平地区の沢に沿って連なる13枚の田んぼが会場となる。山に囲まれた棚田が客席だ。雨天の際の会場は山村開発センター。

演奏するのは馬頭琴奏者の美炎（みほ）さん。キーボードは竹井美子さん、ベースはｇｉｚ（ギズ）さん。15～16曲披露する。高校生以上2500円（前売り2200円）、3歳以上1200円（千円）。

棚田近くに東京から移住し、木工房を開いている広田充伸さん(48)、美千香さん(48)夫妻が始めた企画。「馬頭には馬頭琴が似合う。山や棚田に響く調べは格別です」という。

問い合わせは野焼祭が藤田製陶所（0287・93・0703）、馬頭琴野外コンサートが広田さん（080・3349・3465）。

ツイッター・フェイスブック発信中

栃木版の記事や号外、ちょっとした話題を紹介しています。

ツイッター：@asahi_tochigi（http://twitter.com/asahi_tochigi）

フェイスブック：https://www.facebook.com/asahitochigi＝QRコード

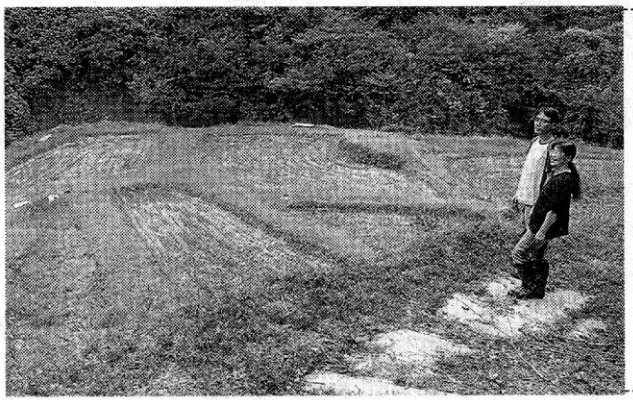
２０１３年１０月１日　東京新聞

栃木・那珂川で13日 コンサート

馬頭琴の音色 棚田で味わって

東京から移住の夫妻 今年も企画

昨年のコンサートで馬頭琴を演奏する美炎（みほ）さん（主催者提供）



コンサートが行われる棚田を望む広田さん夫妻＝いずれも栃木県那珂川町で

モンゴルの伝統楽器「馬頭琴」のコンサートが十三日、栃木県那珂川町小口の棚田で催される。駐車場から会場まで約一キロの山道を歩かなければいけないが、東京や埼玉など県内外から約百五十人が訪れるなど好評のイベント。主催者の広田充伸さん(四〇)、美千香さん(四〇)夫妻は「棚田は地域の財産。価値を見直すきっかけになれば」と願う。

（大野暢子）

広田さん夫妻は東京で気象関係の企業に勤務していたが、「自然豊かな環境で子育てがしたい」「定年を気にせず、趣味の木工を生かした仕事をしたい」と考えて退職。二〇〇五年、当時四～十一歳だった子ども三人と那珂川町へ移住した。現在は地元で木製家具の工房を営む。一一年春、知人からプロ馬頭琴奏者の美炎さんの評判を聞き、那珂川町の旧名「馬頭町」にちなんだ町おこしコンサートを考案。特に好きな場所だった裏山の棚田に着目し、所有者の許可を得て、美炎さんを招待することにした。

馬頭琴は「草原のチェロ」と称される伸びやかな音色が特徴。山で囲まれた棚田は音をよく響かせ、初めて試奏した美炎さんは「室内では出せない音が出る不思議な場所」と驚いたという。

コンサートは今年で三回目を数える。あぜ道に座って鑑賞するスタイルは、参加者から「新鮮だ」と驚かれてきた。「演奏中に野草の綿帽子が舞い上がったり、トンビが上空を旋回し始めたりして、自然が共鳴しているようでした」と美千香さんは振り返る。

充伸さんは、地元の人から「なぜ東京からこんな何もない所に来たの？」と聞かれるたびに不思議だったという。「棚田や里山の美しさは、地元の人々の努力のたまもの。僕らのようにあこがれている人もいる。そんな魅力を伝えるイベントにしたい」と意気込む。

開場は午前十時で、開演は同十一時。前売り券は、高校生以上が二千二百円（当日二千五百円）、子ども千円（同千二百円）。雨天時の会場は、同町馬頭の山村開発センター。十五～十六曲が披露される予定で、杉木立を使った写真展や、パンの屋台販売もある。

問い合わせや前売り券購入は、広田夫妻の工房ヒロクラフト＝電080（3349）3465＝へ。

■馬頭琴奏者･美炎さんの感想

棚田コンサートをおえて（2012 年演奏会後のブログ記事より）

普段、曲をつくって、編曲してもらって、自分で演奏して、他の楽器に加わってもらって
アンサンブルに仕上げて、大きな舞台では、そこに照明と音響と舞台演出も入り
そして本番のステージという場面でその作品が作品としてはじめて完成するわけですが
美炎・馬頭琴の調べ
馬頭の棚田を吹きぬける心地よい風にのせて
のステージは、そこにまるごと自然というものがくわわって、あたらしい作品世界になる。
さらには、棚田を守る茂さんとそれを応援してこのコンサートに尽力をつくす廣田さん夫妻のいろいろな思惑も作品に加わっている。
という点では、かなりめずらしい舞台です。
野外コンサートというのはどこにでもあり、珍しいものではないのですが、
そのほとんどが単に外で演奏する。というもので
これほどまでに自然そのものが舞台の役割を果たしている所はそうそうない。
あのお椀状になっている谷の底で見上げる空は丸く
音は後ろの岩壁に反響して山の上の隅々までひろがりのぼっていく。
むしろ山の上の方が音がいいくらいだ。
エントランスも完璧で、一体この先に何があるのだろう？どこまでつづくだろう？
という期待感を抱かせて、それは突然ひらけた視界の真下にひろがる棚田に、おもわずだれもがあっとなる。
音がよく廻るためか、周辺の生き物達が音に反応する。
それは植物や風、雲といったものまでが曲ごとに場面転換のお手伝いをしてくれる。
そのあたりはもうなぜだか分からないが、誰かが演出の指揮をとってるとしかおもえないくらい。
自然丸ごとが作品に加わる。
ということをあらかじめ想定しているわけではないので、普段のライブの内容とそう変わらないものを演奏してはいるが、そろそろそれを前提の作品作りをしてもいいのかもしれない。
例えばこの２回はお見送り演奏と題して、終演後、皆さんが山を登って帰る道々の音の変化を楽しんでいただくために即興演奏をしているが、
開演前にも何かの演出をすることは可能かもしれないし。
などと妄想はふくらむ・・
１回目のとき、棚田と人と音楽が輪になる。そんなイメージだった。
２回目はイメージよりもその輪がある。ということを再び実感するような感じで
それはこの舞台がおしえてくれていることかもしれない。
世の中は本当はみんなそうなんだよ。
すべてはつながっている。って。

■お客様の感想　(3 年間の抜粋)

２０１１年

●棚田まで行く道はまさに子どもたちの秘密の遊び場のようで、そのとっておきの空間で聞く音色はとてもぜいたくな時間でした。初めて馬頭琴の音色を聞きましたが、秋空、棚田の雰囲気にぴったりでした。（宇都宮市・女性）

●自然という神様の作るステージは、居心地も聴き心地もたとえる言葉がありません。今は、この二度と無いひと時を与えて下さった出会いの全てに心から感謝いたします。棚田をなでるように流れる音色と風と自然に生きるものたち･･･。ぜいたくな時間をありがとうございました。（宇都宮市･女性）

●馬頭町で生まれ育って、初めてこんなイベントを開いていただいて、あらためて古里のよさを認識しました。美炎さんの音色のおかげです。企画ご苦労様でした。（宇都宮市・女性）

●馬頭琴の音色を生まれて初めて聞かせていただきましたが、自然とピッタリ息が合って喜んでいるような気を感じました人のつながりの可能性は大きな力を生みますね。これからも、自然を多くの人たちで守っていく事をしていけたら楽しい山や田や野原のステージができると思います。ありがとうございました。（那珂川町・女性）

●人のつながりと想いが、とても暖かく伝わってきました。自然、地域、生活を先祖代々守ってきた美しさ、美炎さんの美しい音色がとても感動的でした。（那珂川町・男性）

２０１２年

●初めて自然の中で馬頭琴の音色にしばしば時間がたつのを忘れました。会場を盛り上げるための地元の方々の協力、すごいなぁと思いました。会場までの写真、稲と彼岸花の花束「手作り」の暖かさをいただきました。皆さんの知恵と努力の結果、大拍手です。ありがとうございました。（品川区・女性）

●ステキなコンサートでした。正面の山々、空、ステージ、美炎さんの紅い衣装･･･、風、とんぼ、飛ぶ綿毛、空気、すべてがそろってとってもステキだということ、心地よいということ。今日に至るまでの準備大変だったことと思います。スタッフ皆さんの温かい想いが空気にあらわれていて、とても心地良いステキなコンサートでした。ありがとうございました。（女性）

●棚田に心地よく吹く風と空を流れる雲を眺めながら、馬頭琴の響きを聴いているうちに、胸がいっぱいになり、自然と音楽が一体になった様子に感動しました。また来年も来たいです。とてもさわやかな時を過ごす事ができました。（宇都宮市・女性）

２０１３年

●風が心地良く外で聞くのがとても気持ちよかったです。小さな子も地元の人も多くて独特の雰囲気で楽しかったです。めったに無い経験ができて、とても良かったです。（宇都宮市・女性）

●風の音、コオロギの音が馬頭琴と重なって、とても気持ちが良い音がしました。風が音に答えているかのようでした。野外で、棚田で、コンサートは初めてでしたが、とても贅沢な時間を過ごせました。（那須塩原市・男性）

●自然のホールは、音が良く響き、良い場所でした。地域の皆さんが協力して、良いコンサートにしようとしているのが、良く伝わりました。会場までの整備、展示など良いでした。自然を大切にしようと思う事ができました。（宇都宮市・男性）

●かつては、ほんの数家族のみが通った山奥の道。今日、多くの人たちが美炎さんの演奏を聞きに歩いているのを見ると不思議な気持ちになりました。最後の「祈り」は前回に聞いた時も大変感動しましたが、今日も本当に素敵でした。悲しみや苦しさが慰められ、励まされるような力を与えられる響き。ありがとうございました。（神奈川県・女性）

●山に囲まれた棚田とそこで聞く馬頭琴のやさしい音色に魅かれて今年もまた来ました。昨年までと空気が入れかわって、馬頭琴がさわやかなモンゴルの風を運んできたかのようでした。アキアカネが飛び交い、エンマコオロギが鳴き、梢からヒヨドリやアオゲラの声が響いて、そして、時々少し強い風があたりの木々をザワザワ鳴らして、ああ、風の又三郎の世界だなと思いました。胸の中に溜まって漂っていたオリのようなものが流されてきれいになって行く･･･、そんなすばらしいひとときでした。（真岡市・男性）

●震災後の春、馬頭を訪れ、いやされました。季節を変えて、今年、秋に来ようと決めていました。娘はちょうど小学校２年生。馬頭琴の音色を聞かせる事ができて良かったです。美炎さんはじめ、スタッフのみなさま、ありがとうございました。（福島県・女性）

■後援

那珂川町教育委員会　　那珂川町観光協会

■協力

東京ガイシ㈱、いわむらかずお絵本の丘美術館、もうひとつの美術館、
馬頭広重美術館、ばとうホースランド、ファッションあらい、
藤田製陶所、市川窯、乾徳寺、馬頭院、鷲子山上神社、そば処霧ヶ岳、
陶里庵、いさみ館、美玉の湯、那珂川苑、ゆりがねの湯、
その他（敬称略）

■主催

廣田充伸・美千香
住所：栃木県那須郡那珂川町小口 630
電話：0287-92-5660（Fax 兼）
E-mail：info@hirocraft.com

■公式サイト

「美炎・馬頭琴の調べ」　http://hirocraft.com/miho